

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生理学 I ・内分泌		野崎 義弘		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	前期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある教員による講義である。				
学修内容	自律神経、ホルモン、ホメオスタシス、フィードバック機構、視床下部、内分泌臓器				
到達目標	<p>正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む</p> <p>人体の内部環境の調節について理解する。</p>				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	<p>第6章 内臓機能の調節</p> <p>1. 自律神経による調節・内分泌による調節がどのように行われているかを学ぶ。</p>
2	<p>2. 全身の内分泌腺と内分泌細胞</p> <p>視床下部、下垂体、甲状腺と副甲状腺、膵臓、副腎、性腺の部位と分泌されるホルモンの働きについて学ぶ。</p>
3	<p>3. ホルモン分泌の調整</p> <p>神経調節、フィードバック機構</p>
4	<p>4. ホルモンによる調節の実際</p> <p>ストレスとホルモン・乳房の発達と乳汁分泌・高血圧をきたホルモン</p>
5	終講試験
履修上の要件	<p>特になし</p> <p>内分泌の疾患については疾病と治療Ⅱで履修する。</p>
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	<p>筆記試験</p> <p>序論・消化器とあわせて解剖生理学Ⅰの単位とする。</p>
備考	